

Port of Hachinohe

No. **25**
Jul 2008

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 八戸港国際物流拠点化推進協議会 平成20年度定例総会開催
- 八戸セミナー2008のご案内
- 東南アジア航路改編
- 中東市場輸出可能性調査
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港の物流を支える人々

八戸港国際物流拠点化推進協議会 平成20年度定例総会開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、去る4月22日、八戸パークホテルで平成20年度定例総会を開催しました。昨年の八戸港のコンテナ取扱量は、冷凍水産物の輸出入の増加や、トナーカートリッジの移出の増加により、34,351TEU（20フィートコンテナ換算）と過去最高を記録しました。

総会では、当協議会会長（小林真 八戸市長）が、「皆様のご指導とご協力を賜りながら、国内外におけるポートセールスや地場産品の輸移出促進等への積極的な取組を通して、八戸港の更なる利用拡大を図りたい」と挨拶を述べ、その後、議事に入り今年度の事業計画を決定しました。主な事業計画は以下のとおりです。

◆海外ポートセールス

- ・韓国へのミッション団の派遣

◆国内ポートセールス（詳細2ページ）

- ・首都圏におけるポートセミナー（八戸セミナー2008）の開催
- ・北東北におけるポートセミナーの開催
（詳細が決定次第、当協議会ホームページにてお知らせします）

◆各種補助金制度（詳細3ページ）

- ・八戸港コンテナ輸送トライアル補助金の交付
- ・八戸港青果物等貿易促進補助金の交付



協議会会長（八戸市長）あいさつ



総会の様子

八戸セミナー2008のご案内

～東北の時代をリードする港湾産業都市 はちのへの魅力～

○首都圏開催

八戸市及び八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会では、首都圏企業の八戸市への進出、並びに八戸港の利用促進を目的として、東京において下記のとおりセミナーを開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成20年7月23日（水）15：00～18：30

場所：経団連会館 東京都千代田区大手町1-9-4 TEL 03-5204-1500

次第 ◆セミナー 経団連ホール（14階）15：00～17：00

- (1) あいさつ及び八戸市の紹介 八戸市長 小林 眞
(企業誘致、人材育成、工業団地等のご紹介)
- (2) 八戸港の紹介 青森県県土整備部 港湾空港課
港湾振興グループリーダー 大平 恵一
(八戸港の概要と各種サービス等のご紹介)
- (3) 講演 演題：「産学官連携による新しい地域産業の創出を目指して」
講師：東北大学大学院工学研究科教授 堀切川 一男 氏
- (4) 質疑応答

◆情報交換会 ダイヤモンドルーム（12階）17：00～18：30

主催：八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会
後援：青森県・日本政策投資銀行・日本貿易振興機構(ジェトロ)・八戸商工会議所・
中小企業基盤整備機構東北支部・青森県企業誘致推進協議会

※セミナーは参加無料です。
どなたでも参加できますので、
お気軽にお申し込み下さい。

お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局
TEL:0178-43-9244（直通）

東南アジア航路改編

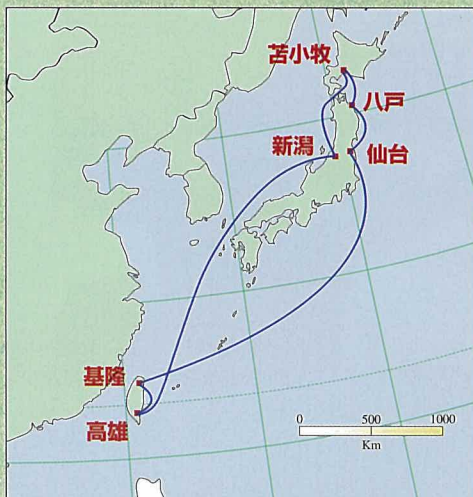
八戸港の東南アジア航路を運航するPILでは、6月から航路を一部変更しました。

これにより台湾・高雄港から八戸港までの到達日数が1日短縮され6日となりました。さらに、高雄港から世界各国の港へのトランシップ・サービスも可能となっ

ております。

また、これまで日曜日に寄港していたものが木曜日に繰り上がったことにより、八戸港への搬入搬出作業の利便性が向上しております。

東南アジア航路 寄港地
基隆～高雄～新潟～苫小牧～八戸～仙台～基隆



| 接続地 | 主な仕向先 |
|-----|---|
| 高雄 | 中国各地、東南アジア各港 東アフリカ、南アフリカ、西アフリカ、 中東、紅海、インド、パキスタン、 スリランカ、オーストラリア、 ニュージーランド、ヨーロッパ、 南米東岸 |

お問い合わせ先

PIL代理店 八戸通運(株)海運営業所
〒039-1161 八戸市河原木字海岸36-11
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281



北米・港湾視察レポート

八戸市産業政策課 主事 坂本 晃則

平成20年2月5日から10日の日程で、八戸港振興協会が主催した北米・港湾視察団に参加しました。今回の訪問は、八戸国際交流協会の「米国ワシントン州フェデラルウェイ市訪問団」との合同によるもので、小林 真 八戸市長が団長を務めました。

北米コンテナ定期航路就航10周年を機に、北米経済事情の把握を通じた八戸港の活性化を目的に実施されたものであり、視察中、北米定期航路を運航するウエストウッド・ SHIPPING・ライズ社を訪問し、航路の利用促進に向け、活発な意見が交わされました。

また、タコマ港湾局を訪問し、情報交換並びに港湾の視察を行いました。タコマ港はシアトル市の南50kmのピューージェット湾に位置し、八戸港とは、平成7年11月に、両

港湾間の貿易促進と友好を目的として経済貿易協定を締結しています。年間約200万TEUという北米有数のコンテナ取扱量を誇り、年々コンテナヤードが拡張されており、今後更に発展が期待される港湾です。

この他にも、当市の姉妹都市であるフェデラルウェイ市の訪問、シアトル市にある日系スーパーマーケット等を視察し、友好を深めると共に、日本酒等日本製品の販売状況といった、現地情報の収集を行いました。

フェデラルウェイ市では、ウエストウッド・ SHIPPING・ライズ社、タコマ港湾局のスタッフも含めた夕食会が開催され、交流を深めました。

今回の視察を機に、両地域の交流が更に深まり、北米航路の発展に繋がる事が期待されます。



ウエストウッド・ SHIPPING・ライズ本社前 (右から5人目が筆者)



フェデラルウェイ市での夕食会

補助金制度のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進、貿易振興のため、次の補助金制度を実施しています。是非ご利用いただき、海外市場への事業展開や御社の物流コストの削減にご活用ください。

なお、両補助金とも予算の範囲内での補助となりますので、予めご了承ください。

●コンテナ輸送トライアル補助金制度

新たに八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用する場合、船荷証券 (B/L) 1件につき5万円を補助します。

補助金対象者は、国内に1年以上事業所を有し、平成17年4月1日以降八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用されたことのない企業様 (若しくは個人経営者様) で、3回まで利用できます。

●青果物等貿易促進補助金制度 (くん蒸補助金制度)

植物検疫の結果、くん蒸が必要となった場合、「八戸港くん蒸上屋」1室1回の利用につき5万円を補助します。

青果物等のくん蒸に係る企業様の負担軽減を目的とし、これまでにタマネギ、牧草、大豆、原木等の輸入に利用されています。

お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会
TEL: 0178-43-9244

中東市場輸出可能性調査

青森県農林水産物輸出促進協議会では、今世界中から注目されているドバイにおいて、食品見本市「ガルフード2008」（日本パビリオン）に出展したほか、高級スーパー

のスピニーズでリンゴの試食宣伝を行い、中東における県産品の輸出可能性を調査しました。

| 期 日 | 場 所 | 内 容 |
|-------------|----------------|---|
| 2月24日～2月27日 | ドバイ国際会議見本市センター | ガルフード2008へ出展 【出展品目】リンゴ、ナガイモ、米、ホタテ、サバ製品、ジュース（リンゴ、スチューベン）、南部せんべい、即席みそ汁 |
| 2月25日～2月26日 | スピニーズ・メルカート店 | リンゴの試食宣伝 【販売品種】ふじ、むつ、世界一、シナノゴールド、（王林（秋田県産）） |

【結果概要】

ガルフード2008やスピニーズでのPR販売により、以下の結果が得られました。

- ガルフードでのリンゴに対するバイヤーの評価は高く、輸出の可能性は高い。
- 日本食はまだ流行・定着はしておらず、本格的な日本食店は少ないが、英国の影響で日本食ブームの可能性あり。
- 即戦力商品は、リンゴ、リンゴジュース、ホタテの3つ。
- 日本食の需要が成熟していないことから、戦略商品の絞り込みが必要。
- ドバイ市場だけでは限界があるので、GCC（湾岸協力会議）全体をターゲットとした輸出戦略が必要。

このように、ドバイでは日本食の大きな需要はまだないものの、リンゴやホタテなどは大きな手応えを感じています。今回の結果を踏まえ、今年度も引き続き中東市場の輸出可能性を探っていきます。

青森県農林水産物
輸出協議会のブース



リンゴ・ホタテの試食は好評

お問い合わせ先

青森県農林水産部
総合販売戦略課
宣伝・販売グループ
TEL：017-734-9607
FAX：017-734-8158

遼寧省で「青森投資促進フォーラムin瀋陽」開催

青森県では、経済成長著しい中国遼寧省大連市と平成16年12月に経済交流協定を締結し、産業経済交流の促進に向けて取り組んでおり、中国における県内企業のビジネスチャンスの更なる拡大のため、5月20日に中国遼寧省へ暇名副知事を団長とする交流ミッション団を派遣しました。

省都である瀋陽市において、遼寧省内の企業や観光事業者等を対象に、本県の投資環境、産業・観光資源などの魅力を紹介するための「青森投資促進セミナー」や「ビジネス商談会」を開催しました。

青森県の魅力発信のための「青森投資促進セミナー」には、遼寧省内の地方政府関係者、企業、観光事業者など約150名の参加があり、本セミナーを通じて本県の産業や観光への認識や理解を深めてもらうことができました。

また、本県企業と遼寧省企業との「ビジネス商談会」には、県内の水産品やリンゴ販売業などの食品関連企業や、IT関連企業など9社が参加しました。商談会場では、参加企業毎にブースを設置し、遼寧省側の企業約20社との活発な商談が行われました。また、商談会終了後も、個別商談や大連市での商談の場を設けるなど、独自の活動をする企業もいくつかありました。

瀋陽市・大連市を中心とする中国東北部は、昨年8月に中国中央政府によって「東北地区振興計画」が打ち出され

たこともあり、広東省を中心とする華南経済圏、上海等の華東経済圏に続く「第3の経済発展地域」として注目されており、この地域における経済交流活動は、今後益々重要となっており、今後益々重要となります。

県では、今後とも青森県の魅力を情報発信しながら、セミナーや相談会の開催、現地交易会等の参加支援、遼寧省企業の青森県への招聘など、県内企業の海外ビジネスの促進に向け、総合的な支援を行っていきたく考えています。

商談会の様子



県産品試食PRの様子



お問い合わせ先

青森県商工労働部
国際交流推進課
経済交流推進グループ
TEL：017-734-9730
FAX：017-734-8119

八戸沖にGPS波浪計設置

3月3日、国土交通省 八戸港湾・空港整備事務所では、青森県内で初めてGPS波浪計を八戸沖約20km、水深約90mの地点に設置しました。

高さ18m、直径5m、重量47.5tもある巨大なブイは、宮城県石巻市で製作され、大型作業船で八戸港に運ばれた後、長さ180mの係留チェーンと170tのアンカーを繋ぐ作業等を行い海上に設置されました。

GPS波浪計での観測情報は、港湾整備に必要な波浪情報を取得するとともに、地震発生時には津波の観測も可能であり、津波が発生した際には沿岸に到達する5分から10分程度前に津波を観測できることから、気象庁等関連機関と連携し、陸上にいち早く情報を伝えることによって人命被害の軽減が期待されます。

現在、GPS波浪計で得られたデータ精査等の試験運用を行っており、今年度中には本格運用を開始する予定になっています。

GPS波浪計とは…GPS衛星を用いて沖合に浮かべたブイの上下変動を計測し、波浪や潮汐等の海面変動をリアルタイムで数センチの精度で観測するものです。



GPS
波浪計設置後

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL:0178-43-9386

八戸港PR用DVD（4ヶ国語対応）を作製

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、より多くの方々に八戸港をPRするため、各言語に対応可能なDVDを作製しました。

日本語、英語、韓国語、中国語（北京語、台湾語）の4ヶ国語に対応しております。興味のある方は是非お問い合わせください。



ジャケット写真

お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会
TEL:0178-43-9244



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達と深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。



海上運賃のBAFとは何ですか？



BAFとは、Bunker adjustment Factor（燃料費調整係数）の略で、燃料（重油）価格の変動に対して調整される割増料金のことです。

海上運送の運賃は、一般にタリフと呼ばれる料率表があり、貨物の種類によってトン当たり何ドル、またはコンテナ当たり何ドルというように決められています。このタリフで定められた運賃で安定していることが望ましいのですが、国際経済情勢の変化により船舶の運航コストに大幅な変動が生じる場合があります。そのコスト変動を割増運賃として調整するものがBAFになります。燃料のほかにコストに大きな影響を与えるものに為替がありますが、為替レートの変動に対して調整される割増料金は、CAF（Currency Adjustment Factor:通貨変動調整係数）と呼ばれています。BAFもCAFも、トン当たり何ドル、またはコンテナ当たり何ドルというように決められています。

同じように海上運賃の割増料金としては、特定の季節に貨物量が激増した場合のPeak Season Surcharge（ピークシーズン割増）や、戦争危険のある地域向けの貨物にかかるWar Risk Surchargeなど、さまざまなものがあります。

最近では、中国からの輸入において、輸入条件がCIF（海上運賃は輸出者負担）にもかかわらず、上記のような割増運賃を輸入者負担にするようなケースが多発しています。これは明らかに契約違反ですので、請求内容によく注意することが必要です。

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成20年7月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-9244）までご連絡ください。

（なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もありますので、予めご了承願います。）

REPORT

香港レポート



香港における日本語教育事情 （その2）

佐藤正博さん

八戸市のみなさん、こんにちは。香港在住の佐藤です。といっても、このレポートがみなさまの目に触れる頃には青森県に戻っていると思います。妻が3年間の日本人学校勤務を終え、青森県の小学校教員に戻ることにになり、そして私も職場復帰となっていることでしょう。

さて、香港における日本語教育事情のその1では、私の友人たちの様子などを中心にレポートを書かせてもらいましたが、今回はデータを基に書きたいと思います。

1. 日本語教育の沿革、背景、特徴など全体的な状況について

●香港の日本語教育の大まかな沿革

香港で日本語教育がいつごろ、どんな形で行われ始めたかは明らかではありませんが、韓国・台湾などとともに関東軍による強制的な日本語教育が行われたのは事実であると思われます。当然のごとく、第二次世界大戦終結とともに日本語教育は姿を消しました。

戦後、1950年以降、日本、香港両地の経済回復に伴い、往来が活発化する中で、50年代末から民間の日本語教育が本格化しました。一方、大学等の高等教育機関の日本語教育は、民間より遅れて各大学に創設されています。なお、初等・中等教育機関の日本語教育に関しては、課外授業の形では古くから行われていましたが、2002年に初めて正規科目として取り入れる中学校が登場しました。また、小学校についても、2003年より正規科目として導入した学校があります。

1997年の中国への返還を控えた90年頃から、日本語の学習人口は減少しましたが、97年以降は増加傾向にあります。

●香港における日本語教育の背景

国際都市である香港は多くの言語が通用していますが、中でも日本語は独特な位置を占めています。その理由として、陳荊和氏（元

香港中文大学東アジア研究センター教授）は次の4項目を挙げています。

- (1) 日本と香港間の経済取引関係。
- (2) 香港における観光事業と日本人観光客。
- (3) 日本文化の香港への浸透。
- (4) 日本商品の氾濫。

この4項目は、香港における日本語教育の推進の上で重要な役割を果たしてきましたが、現在でもその力を発揮していると言えます。

しかしながら、その時代によりそれぞれの項目の比重は違ってきているのではないかと思います。現在、私たちと交流する香港人たちに日本語を勉強している理由を聞いてみると、日本の芸能人にあこがれたなどの、ちょっとしたきっかけが多いようです。もちろん私たち夫婦の友人の話が、香港全体にあてはまるわけではないと思いますが、日本語を学習することが必ずしも将来の成功を夢見るといものには繋がっているわけではないのです。近年の香港の経済事情を考えると、(3)や(4)に大きな比重があるのではないかと思います。彼らは経済的に不自由なく生活しており、もちろんステップアップするために日本語を武器にすることは可能ですが、必ずしも日系の企業にこだわったりはしていません。その理由として、彼らのほとんどが英語をほぼマスターしており、語学は1つのステイタスとしての感覚が強いのではないかと思います。ただし、やはり日系企業への憧れはあるようです。



●香港における日本語教育の特徴について

香港における日本語教育を見てわかることは、民間の教育機関による日本語教育が基盤となっていることです。政府の言語政策レベルでは、日本語のおかれている地位は低く、大学の専攻課程でも、予算が年々カットされています。しかし、民間の語学教育機関での日本語学習者人口は、1997年（香港の中国返還）以降、急速に伸びています。これは、日系大手企業の撤退と中小企業の進出の結果、

日系企業の一人駐在員事務所等では、日本語のできる現地人を雇用するが増加したことに関係しています。

日本語能力試験実施以来の応募者の趨勢を見ると、香港における日本語教育の一端がうかがえるかもしれません。1984年に応募者1,200名で始まったのが、2004年に9,312名となり、特にこの数年の増加が目立っています。

2. 最近の動向

2002年9月、当地新界地区の中学校で初めて正規の科目として日本語が採り入れられました。その学校では1年から3年までの計1,057名の学生が週1回（3コマ1時間30分）の日本語の授業を受けています。また、2003年から正規の科目として日本語を採り入れた中学校が2校、さらには、2004年度からは1校となっています。また、小学校でも2003年度より正規科目として採り入れている学校が1校あります。こうした状況を受けて、当地日本語教育研究会では、中学生用日本語教材の作成に着手し、2003年9月、「いきいき日本語1」を完成させ、第二冊目以降も引き続き刊行の予定です。

2003年5月、香港政府大学教育資助委員会が大学に対する補助金を大幅に削減する方針を表明したことを受けて、香港城市大学が、応用日本研究副学士コースを他の12コースと共に、今後4年以内に廃止することを決定しました。この決定は、大学教職員、学生の猛反発に遭い、一時保留となりましたが、撤回とまでは至っておらず、今後、再び論議を呼びそうです。香港理工大学にも、同様に日本語コース廃止の動きがあります。

2004年10月、香港政府教育統籌局は、中等・高等教育の改革案を提示しました。現行の3-2-2-3制を3-3-4制へ変更するものですが、ここでは英語以外の外国語教育に関する指針が示されていません。日本語教育を普及していく際には制度的な裏付けも欠かせないため、この教育制度改革の行方は今後の日本語教育の動向に大きな影響を与えることになるでしょう。

日本語教育に対する政府の指針は厳しい状況にあると思われるのですが、反面初等・中等教育での新たな日本語教育という状況も見られます。学生の日本語に対する興味はこれからも以前と変わりなく続くと思われるのですが、教育制度の中では香港政府の方針次第で大きく変化するでしょう。そうなるとますます民間での日本語教育が盛んになり、更に発展するのではないかと私は考えています。例えば未成年者に対する民間の学校（塾なども含めて）が増えてくる可能性もあります。

日本語に対する学習欲求が高まっているのに対し、もし、日本語教育が制度上重要視されなくなるとすれば、当然、それは民間に対しての期待となってあらわれるのは当然のことのように思われます。

3. 教育段階別の状況

【初等・中等教育】

香港の初等・中等教育機関で、正規の授業として日本語教育を行っているのは小・中学校で数校です。課外活動として行っている学

校もあります。また、インターナショナルスクールでは、小・中学校で、日本語を教えている学校が数校あります。

【高等教育】

大学では、8校で日本語教育が行われています。香港大学と香港中文大学に日本語の主専攻課程が置かれている他、香港城市大学では語文学部の中に応用日本研究コース（副学士課程：2年）が置かれています。その他の大学でも、選択科目として様々な形で日本語教育が行われています。また、香港理工大学では、2001年に大学院専門日本研究課程が開設され、日本語の総合的インターアクション教育が行われています。

【学校教育以外】

香港で正規の学校教育以外で日本語教育が行われているのは、大学の校外課程と半公的教育機関、そして民間の教育機関ですが、香港の日本語教育全体の90%以上を占めています。社会人向けの校外課程を設けている大学は、香港大学、香港中文大学、香港城市大学、香港理工大学、香港浸會大学の5校です。半公的教育機関における日本語教育としては、香港日本文化協会に属する日本語講座と、香港貿易發展局（TDC）の支援を受けたビジネス日本語コース、そして、カリタス財団系列の日本語学校があげられます。民間の日本語教育機関は、現在確認されているだけでも60校ほどありますが、香港政府の認可を受けていない学校も相当数あると言われており、正確な数字は把握できていません。なお、この数年、年少者向けのコースを設置する機関が増えていきます。



多くの香港人が日本語を学ぼうとしている姿勢には感心させられます。それはただ単に趣味の世界である場合も多いのですが、それにしては貪欲に学ぼう、そしてそれを使おうとしています。

香港という環境がそうさせるのかもしれませんが、これからの日本の語学教育は、今までのものを踏まえて、更に使えるものへと変換させていかなければならないということを、非常に感じます。

八戸市も外国人が多く暮らすようになってきているし、外国との交流も増えてきていると思います。国際化ということで、語学学習が八戸市でも気軽に、積極的に、しかもすぐに活用場面が持てるように、そうしたことができる環境ができあがることをこれからも期待したいと思います。

（佐藤氏は、本年3月をもって日本に帰国し、職場に復帰、ご活躍されています。）

八戸港の貿易概況報告（平成20年1月～4月）

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構（JETRO）八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額では、鉄鋼製品・電気機器・船舶等の増加も見られたが、飼料・フェニロニッケルの不調もあり横ばい（前年比99.3%）。輸入額では、大豆粕・飼料・コークス等の増加も見られたが、木材・カオリン・亜鉛さいの不調もありやや減少（前年比97.6%）。輸出主要国は、韓国・台湾・パナマ、輸入主要国は米国・オーストラリア・中国などが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に輸出・輸入合計は前年比95.3%とやや減少。

■平成20年1月～4月の貿易額（単位：千円）

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計（八戸港・むつ小川原港・久慈港）から抜粋

輸 出

| 品名 | 単位 | 今年累計 | | 対前年比 累計% | |
|---------|----|-----------|------------|-------------|---------|
| | | 数量 | 価格 | 数量 | 価格 |
| 船 舶 | NO | 6 | 15,873,100 | 300.0% | 264.6% |
| フェロニッケル | MT | 41,634 | 22,238,134 | 91.2% | 60.8% |
| 有機化学品 | KG | 596,220 | 201,192 | 108.3% | 109.4% |
| 紙 製 品 | MT | 792 | 64,960 | 148.0% | 134.2% |
| 一 般 機 械 | | | 11,663,595 | | 147.7% |
| 鉄 鋼 製 品 | MT | 23,561 | 1,032,539 | 15299.4% | 1359.6% |
| 飼 料 | MT | 1,526 | 86,784 | 52.7% | 47.5% |
| 魚 介 類 | MT | 4,953 | 642,784 | 87.8% | 79.8% |
| 鉄 鋼 く ず | KG | 3,394,814 | 204,914 | 53.6% | 70.6% |
| 電 気 機 器 | | | 156,717 | | 387.4% |
| そ の 他 | — | | 860,126 | | 65.0% |
| 合 計 | — | | 53,024,845 | | 99.3% |

輸 入

| 品名 | 単位 | 今年累計 | | 対前年比 累計% | |
|---------|----|-----------|------------|-------------|--------|
| | | 数量 | 価格 | 数量 | 価格 |
| ウッドチップ | MT | 296,118 | 5,912,562 | 99.5% | 98.5% |
| とうもろこし | MT | 277,333 | 9,092,126 | 97.5% | 119.6% |
| ニッケル 鉱 | MT | 704,325 | 8,463,227 | 84.6% | 71.3% |
| 木 材 | CM | 3,913 | 145,861 | 26.1% | 29.2% |
| 亜 鉛 鉱 | MT | 53,162 | 4,969,461 | 230.9% | 163.8% |
| 亜 鉛 さい | MT | 8,036 | 601,791 | 110.0% | 56.3% |
| 大豆 粕 | MT | 111,722 | 5,925,713 | 179.0% | 260.1% |
| 魚 介 類 | MT | 1,123,672 | 1,847,784 | 31742.1% | 159.0% |
| 飼 料 | MT | 31,316 | 880,859 | 287.7% | 241.1% |
| 石 炭 | MT | 245,372 | 2,533,490 | 82.8% | 93.9% |
| こうりゃん | MT | 36,808 | 1,214,347 | 79.4% | 98.0% |
| ウッドパルプ | MT | 7,367 | 575,770 | 74.5% | 68.8% |
| カ オ リ ン | MT | 20,756 | 517,697 | 49.3% | 49.1% |
| 肥 料 | MT | 6,335 | 233,114 | 86.4% | 108.4% |
| コークス等 | MT | 33,408 | 1,479,432 | 229.7% | 371.3% |
| 鉛 鉱 | MT | 16,298 | 4,531,359 | 全 増 | 全 増 |
| 金 属 製 品 | MT | 475,010 | 372,339 | 19467.6% | 59.5% |
| その他穀物 | MT | 787 | 116,198 | 33.1% | 257.0% |
| 糖 蜜 | MT | 2,269 | 26,570 | 94.6% | 68.8% |
| 一 般 機 械 | | | 393,833 | | 107.7% |
| そ の 他 | — | | 4,102,773 | | 29.7% |
| 合 計 | — | | 53,936,307 | | 97.6% |

●コンテナ貨物通関額（ ）内は対前年比

| | |
|-----|-------------------|
| 輸 出 | 243億1713万円（82.1%） |
| 輸 入 | 67億9522万円（107.7%） |
| 合 計 | 311億1234万円（86.6%） |

●コンテナ貨物通関本数（ ）内は対前年比

| | |
|-----|-----------------|
| 輸 出 | 3,029TEU（97.0%） |
| 輸 入 | 4,119TEU（94.1%） |
| 合 計 | 7,148TEU（95.3%） |

農林水産物の 海外展開に向けての現状認識

我が国の農林水産物等の輸出額は、3,739億円（平成18年）と対前年比13.0%増加したものの、一方で輸入額は7兆4,195億円（平成18年）と輸出の約20倍あり、依然大幅な輸入超過状況にあります。平成19年1月から5月までの農林水産物輸出額は、656億円と対前年同期比で19.6%増と増加のペースが上がってきていますが、平成25年までに1兆円規模の輸出を目指す国の目標を達成するためには、約15%の伸び率を毎年持続する必要があります。

あります。このことを考えれば、年率ベースで増加の加速度を上げていく必要があるでしょう。

近年の農林水産物輸出額の推移を以下に見ると、農産物と林産物は一層のてこ入れをして増加率を上げていく必要があります。そのために、今まで育成されてきた輸出者が行なっている事業が持続的に発展できるように支援するとともに、新たな輸出者を発掘する努力が喫緊の課題になっている状況です。

日本貿易振興機構（JETRO）
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

【農林水産物輸出額推移】

（単位：億円、%）

| | | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 |
|-----------|-------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 農 林 水 産 物 | | 2,789 (1.1) | 2,954 (5.9) | 3,310 (12.1) | 3,739 (13.0) |
| 内 訳 | 農 産 物 | 1,588 (▲3.5) | 1,658 (4.5) | 1,772 (6.8) | 1,946 (9.8) |
| | 林 産 物 | 90 (12.6) | 88 (▲1.8) | 92 (3.7) | 90 (▲1.6) |
| | 水 産 物 | 1,111 (▲7.5) | 1,207 (8.7) | 1,447 (19.8) | 1,703 (17.7) |

（資料）農林水産省「農林水産物輸出入概況」をもとに作成、（ ）は対前年比。

八戸港の物流を支える人々

いまや、私たちの生活は世界中から集められた商品によって支えられていますが、様々な地域の物品が行き来するということは、それに伴って病気や害虫などが広まってしまう危険性ははらんでいます。今回は、植物を介して病害虫が侵入しないよう検査を行う、植物防疫所についてご紹介します。

～農林水産省 横浜植物防疫所 塩釜支所八戸出張所～



植物に対して検査が始まったのは、1850年代にフランスがアメリカから輸入したブドウ苗によって、これまでフランスになかった害虫が侵入し、10年もせずにフランス全土にまん延したことがきっかけでした。

フランスのブドウ園は甚大な被害を受け、当時のワイン生産量が30%程度にまで減少するという事態になり、隣国ドイツは自国への被害拡大を恐れ、1872年にブドウ苗の輸入を禁止しました。これが世界で初めての輸入植物検査となりました。

その後、世界的に貿易が活発になることに伴って、植物の病害虫が国境を越えてまん延する危険性が増大し、防止に向けた国際協力が検討され、1952年に世界各国が参加する国際植物防疫条約 (International Plant Protection Convention: IPPC) が発効しました。

日本でも、明治になってから貿易が盛んになったことで、病害虫の侵入の危険性が高まりました。更に、輸出相手国から農産物について検査証明書添付などの要求が厳しくなったことにより、1914年に「輸出入植物取締法」が施行され、植物検査が開始されました。

現在は、昭和25年に施行された植物防疫法に基づき、検査が行われています。

輸入植物検査の対象は、病害虫の付着する可能性がある栽培用植物 (苗、苗木、穂木、球根、種子など)、食用の野菜や果物、観賞用の切花、木材、乾燥した植物の他、生きた昆虫や微生物など極めて広範囲にわたっています。

特に、万一日本に侵入した場合には大きな被害が予想され、かつ輸入時の検査では発見が困難な病害虫の寄主植物や、多くの病害虫が潜んでいる可能性の高い土、生きた病害虫そのものは、日本への輸入が禁止されています。

一方、製材や製茶など、病害虫の付着する可能性がないほど高度に加工されたものや、瓶詰めや缶詰など密封されたもの、昆虫標本など死滅した昆虫等は検査の対象とはなっていません。植物検査は世界的に行われているので、日本から海外へ植物などを輸出する際も、相手国の検査条件に適合したものでなければ輸出できません。

検査条件は、同じ植物であっても国や地域によって異なります。輸入が全く禁止されているもの、あらかじめ輸入許可が必要なもの、輸出国の検査合格証明書が必要なもの、また、輸出前の消毒措置や生産地での病害虫検査の要求などもあり、その内容はさまざまであり、輸出の際も貨物の梱包に使用する木製の梱包材について、検査条件を満たしている必要があります。

八戸出張所では、現在3名の職員が検査に携わっています。八戸港には、飼料コンビナートが形成されているため、トウモロコシ・大豆かす・マイロなどの飼料原料への検査が多くあり、また、青森の代表的な産品であるリンゴの輸出や、木材の輸出入の検査も行っております。

なお、植物検査は、商業目的の貨物だけでなく、海外旅行時に個人が携帯する荷物に対しても行われています。

お土産のつもりで果物や花の種・苗などを持ち込んだり、持ち出したりするような場合でも注意が必要です。あらかじめ植物防疫所に問い合わせるか、ホームページの情報を確認することをお勧めします。

最後に、マイマイガに関することですが、アジア・欧州・北米など広い地域に生息しており、中でも、アジア型は広食性が強く、アメリカやカナダは、森林を破壊するとして、自国への侵入に警戒を強めていたところでした。

このような中、2007年に両国は、八戸港をマイマイガ対策が必要なハイリスク港に指定したため、港湾管理者である青森県を中心に、国 (植物防疫所)、八戸市、港湾事業者は、卵除去や樹木の剪定、薬剤散布等を実施、マイマイガの駆除を進めてきたところでした。

マイマイガの発生数は、フェロモントラップに捕獲される雄成虫の数で調査しており、駆除を実施した平成19年には大幅に減少し、駆除効果が現れてきていると考えています。

植物防疫所としても、マイマイガの生態調査や情報提供等の協力を引き続き行って参りたいと思います。



トウモロコシの検査



輸出リンゴの検査



コンテナ貨物の検査



木材の検査

お問い合わせ先

農林水産省 横浜植物防疫所 塩釜支所八戸出張所 TEL/FAX:0178-33-5424

農林水産省 植物防疫所 HPアドレス <http://www.maff.go.jp/pps/>

| | コンテナ航路 | 船社名 | 集荷代理店 | 寄港間隔 | 主な寄港地 |
|----|-----------|--------------|--------|------|--|
| 外航 | 東南アジア航路 | PIL | 八戸通運 | 1便/週 | [寄港地] 台湾(基隆、高雄) [接続地] 東南アジア全域、中国、豪州、欧州、南米、アフリカ、他 |
| | 中国・韓国航路 | 南星海運(株) | 八戸港湾運送 | 2便/週 | [寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(大連、青島) [接続地] 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州、他 |
| | 北米航路 | WSL | 八戸港湾運送 | 1便/月 | [寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー) |
| 内航 | 内航フィーダー航路 | (株)横浜コンテナライン | 八戸通運 | 1便/週 | [寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地 |
| | | 井本商運(株) | 八戸港湾運送 | 1便/週 | [寄港地] 東京 [接続地] 世界各地 |

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

| 寄港地 | 所要日数(日) | |
|------------------|---------|----|
| | 輸出 | 輸入 |
| 釜山(韓国) | 3 | 4 |
| 光陽(韓国) | 4 | 5 |
| 蔚山(韓国) | 5 | 8 |
| 基隆(台湾) | 7 | 7 |
| 高雄(台湾) | 8 | 6 |
| 香港(中国) | 9 | 10 |
| 大連(中国) | 6 | 8 |
| 青島(中国) | 7 | 7 |
| 上海(中国) | 9 | 8 |
| 天津新港(中国) | 7 | 9 |
| 寧波(中国) | 8 | 8 |
| 蛇口(中国) | 14 | 13 |
| シンガポール | 19 | 16 |
| ジャカルタ(インドネシア) | 27 | 21 |
| バンコク(タイ) | 22 | 23 |
| レムチャパン(タイ) | 23 | 21 |
| マニラ(フィリピン) | 27 | 24 |
| ホーチミン(ベトナム) | 26 | 20 |
| ハイフォン(ベトナム) | 10 | 12 |
| ロングビーチ(米国西岸) | 16 | 18 |
| シアトル(米国西岸) | 21 | 13 |
| チャールストン(米国東岸) | 30 | 23 |
| ニューヨーク(米国東岸) | 29 | 22 |
| バンクーバー(カナダ) | 23 | 13 |
| ブリスベン(オーストラリア) | 31 | 29 |
| オークランド(ニュージーランド) | 40 | 38 |
| サウサンプトン(イギリス) | 29 | 35 |
| ルアーブル(フランス) | 30 | 35 |
| ブレーメルハーフェン(ドイツ) | 32 | 35 |
| ハンブルグ(ドイツ) | 43 | 44 |
| ロッテルダム(オランダ) | 41 | 46 |
| アントワープ(ベルギー) | 45 | 42 |

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

| | | |
|---|------------------|------------------|
| 八戸通運株式会社(海運営業所) | TEL:0178-29-0202 | FAX:0178-20-3281 |
| 八戸港湾運送株式会社 | TEL:0178-29-3177 | FAX:0178-29-3119 |
| 新丸港運送株式会社 | TEL:0178-20-2321 | FAX:0178-20-2353 |
| 八戸運輸倉庫株式会社 | TEL:0178-28-2401 | FAX:0178-28-6976 |
| 三八五流通株式会社(八戸区域事業所) | TEL:0178-52-7755 | FAX:0178-52-7751 |
| 日本通運株式会社八戸支店 | TEL:0178-27-3311 | FAX:0178-27-5520 |
| ナラサキスタックス株式会社八戸支店 | TEL:0178-20-1651 | FAX:0178-20-2444 |
| 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫 | | |



八戸港を管理する青森県三八地域県民局地域整備部八戸港管理所より、さまざまな情報をお知らせしていきます。

今回は、より使いやすい港湾整備を目指して今年度に予定している工事内容についてご紹介します。

- ①八太郎大橋の地震時の倒壊を防止するために、橋脚の耐震補強工事を実施します。
- ②河原木地区や八太郎地区の臨港道路で舗装が傷んで通行に支障がある箇所や、八太郎地区M岸壁外の車止めや防舷材が破損して岸壁の利用に支障がある箇所の補修工事を行い、港湾の円滑な利用を図ります。
また、河原木地区において土砂の堆積で水深が浅くなり、船舶の航行に支障がある泊地の浚渫工事を実施します。
- ③八太郎地区に今年度末をメドに、廃船処理用の船揚場を整備します。
- ④八太郎地区の避難緑地の整備を進めます。
- ⑤八太郎地区の市川工業用地の整備を進めます。
- ⑥八太郎地区2号埠頭のコンテナヤードの拡張整備工事に着手し、コンテナ貨物の増加に対応します。

八戸港管理所

TEL:0178-28-2105 FAX:0178-20-4746

編集後記

先日テレビで、興味深い番組を目にしました。日本は、水の豊かな国のイメージがありますが、そんな日本が実は最も水を輸入しているそうです。

これは、実際に水を輸入しているわけではなく、「バーチャルウォーター」の考えに基づき、「農・畜産物等を輸入する際、それらを育てるために使った水も輸入している。」という考えです。この考えでいくと、多くの農・畜産物を輸入している日本は、かなり大量の「バーチャルウォーター」を海外から輸入していることになりました。

八戸港では、年間100万トン以上ものトウモロコシが輸入されています。トウモロコシを育てるのに、重量あたり2,000倍の水が必要と言われており、「バーチャルウォーター」の考えでは、20億トン以上も輸入していることとなります。こんなに、水を海外に依存しているのは驚きですね！



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内

TEL:0178-43-9244 FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/~hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp

二〇〇八年七月発行
発行所 八戸港国際物流拠点化推進協議会・(株)八戸港貿易センター
企画編集 (株)八戸港貿易センター